

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		株式会社ノーサイド 西堤		公表日		2025 年 4月 28日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	施設の物をなくし配置を変え、使わない物は直すなどスペースの確保ができ広がった。	安全確保に努め、活動を広げていくためにも配置等は今後も検討していきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	施設内でも広くなり利用定員や職員の配置数は概ね適切である。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		毎月の壁面など活動に合わせた空間になっている。	エレベーターやトイレの手すり等バリアフリーに配慮しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5			引き続き、日々の掃除を徹底し、さらに感染予防に努めます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	3	個別の部屋はないが、パーテーション等活用は可能。	必要に応じて対応していきます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	2		PDCAサイクルの取り組みがまだ不十分で、より多くの職員が参画できる全体会議等、開催していきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			内部・外部研修に参加するよう進めていきます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5			第三者評価は行っておりません。外部評価や業務改善への取り組みがまだ不十分です。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	2		研修内容を作成し職員に参加してもらいやすい様に工夫していきます。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			ホームページにて公表いたします。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		日々の支援状況を確認し子どもの様子、保護者、相談支援員等の情報なども含めニーズや課題を分析した上で作成しています。	今後も保護者との面談を通してアセスメントを行い、常に児童及び保護者様の立場に立つて支援計画を作成してまいります。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1	計画に沿った支援が行われている時もあるが、行われていないこともある。	計画に沿った支援が出来ているところもあるが十分でないところもある為、共有して支援できるように取り組んでいきます。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	チーム内でプログラムの立案を行っており、準備等に多くの人が協力しています。	今後より一層、日々支援を行っている職員の意見も交えながら活動プログラムを立案していきます。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			今後も人と関わりを多く持てるようにし、機能維持等の力を養えるように活動プログラムを考えていきます。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2	職員の勤務時間も異なり、全体での振り返りの時間は作れていない。気づいた点等あればその都度共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		他事業所や保護者からご依頼で参加しています。情報共有の場があり情報交換を行っています。	必要な情報等の提供や相談支援員より情報提供を行っている。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5		イベント等で交流出来るような企画を検討しています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	3		参加する人が限られており、あまりできていない
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		適宜、保護者に連絡を取り、良い関係を構築しています。	体調面やケアの確認など連絡を取り合い共有し、面談で支援方針を決定しています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			契約時に説明を行っています。不明な点につきましては、個々で対応させていただきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	1		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			定期的に面談を行っていますので順次お知らせ致します。また送迎時やお迎え時に保護者に寄り添いながら助言等を行い支援につなげています。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	2		イベントで保護者、ご兄弟等お会いする場面はあります。交流までの機会は少なく今後交流の場を設けていきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		シュレッダーや書庫を活用しています。個人ファイル、写真の取り扱いに注意し、全職員に守秘義務を尊厳するように伝えていきます。	個人情報については鍵付き書庫に入れていて、十分な配慮を行っています。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			情報共有ツール等を使い、保護者の方から頂いた意見をスタッフ全体に共有させて頂いています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1	定期的実施できるようにしたい。マニュアルの再確認等行っていきます。	緊急時の役割分担を整えています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1	消防訓練では年に1回、消防士に来てもらっています。	避難訓練を年に2度実施し、避難所として避難食、発電機等を完備している。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこのものの状況を確認しているか。	3	2		保護者からの詳細の情報を書面にて記載していただいています。定期的に確認を行い変更時は保護者にご提示のご協力をお願いしております。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		職員全員が把握出来るようにアレルギー有無の一覧表を掲示しています。個人ファイルの表面に表記し情報共有をしている。	アレルギーのある利用児については個人ファイルやアセスメントシートなどに記載し、情報共有しています。引き続き、全職員への周知を徹底し、最新の注意を払ってまいります。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	1	4		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		安全委員会を毎月開催し、ミーティング等で共有しています。対策等について話し合いを行っています。	適宜、ヒヤリハットの記入と公開の仕組みが出来ています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2	3	研修を行っています。	虐待・身体拘束防止を継続していきます。職員の育成についても、共有し周知しています。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	1		まれに身体拘束が必要な場合については保護者の同意を得たうえで行われている。	